

本わさびが血液流動性に及ぼす影響

奥西勲¹⁾、永井雅¹⁾、○市川佳伸¹⁾、西堀すき江²⁾

¹⁾金印株式会社研究開発部、²⁾東海学園大人間健康学部

【目的】古来より食品としてだけではなく、薬草としても用いられてきた本わさび(*Wasabia japonica*)であるが、近年食品としての様々な機能性や有効成分の存在が明らかになってきており注目を集めている。これまでの研究で本わさび及び含有成分には血小板凝集抑制作用あることを *in vitro* で確認しており、さらにヒトに本わさびを摂取させた場合に血流改善作用があることを確認している。今回はこれまでの結果とともに、この本わさびの機能を効果的に利用する為のサプリメントとしての可能性を検証する為、臨床試験を行なった結果を報告する。

【方法】本試験はプラセボ対照二重盲検試験法(クロスオーバー法)を用いた。被験者は20名(男性10名、女性10名)、平均年齢52歳(男性47歳、女性57歳)、平均 BMI は 23.9(男性 23.9、女性 23.1)で、健常者を選択した。被験者には事前に生活指導行なうなど、生活習慣の違いが試験結果に影響しないように配慮した。被験者には、本わさびエキス末含有またはプラセボのソフトカプセルを試験日前日の夕食後、当日の計2回摂取させ、休息をとらせた後採血し、MCFAN(日立原町工業社製)を用いて血液流動性を評価した。

【結果】血液 100 μ l の通過時間を測定した結果、本わさびエキス末含有サプリメントを摂取した場合(36.7 \pm 5.1 秒)は、プラセボ群(43.0 \pm 10.0 秒)と比較して有意に低値を示した(P=0.014)。また血液通過時間が平均より遅めであった被験者層において、本わさびエキス末含有サプリメントを摂取した場合(41.9 \pm 7.0 秒)は、プラセボ群(52.1 \pm 9.3 秒)と比較して有意に低値を示した(P=0.001)。これらのことから本わさびエキス末を含むサプリメントに血液流動性の改善効果があることが示された。また血液流動性の比較的良くない場合には特に効果が現れやすく、血液通過時間の20%短縮という大きな改善効果があることが示された。